

宗片邦義会長より日本大学本部に宛てた追悼の言葉

日本大学 様

瀬在幸安元総長先生のご逝去に接し、心よりこれまでの御指導御厚情に感謝し、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

1999年、日大に「日本最初の通信制大学院」発足後、「文化情報専攻」の一期生が「世界平和実現には、比較文化研究ではなく、世界のすべての文化の調和と融合が必要」として学会結成を提案、これを瀬在先生に申し上げたところ、大賛成なさって「国際融合文化学会」と命名し、名誉会長をお引き受けくださった。

そしてその後、日本の能楽とシェイクスピア劇の融合という実験的な研究に、多額の研究費をお認め下さり、カザルスホールにて「日本最初の『能ハムレット』」を実現してくださった。この時のアイ狂言（原作の墓堀ではなく墓守）が人間国宝の野村万作師で、

生きることは選ぶこと
この世もあの世もほんとの命
宇宙の命につながることよ
この世の醍醐味分かってきたさ

と謡ってくれて、大好評を博したのです。

ところが会場に、立ち見も含め超満員の観客を私の責任で入れてしまったのでその後瀬在先生にお許しを乞いに伺ったところ、気にする必要なし、どしどしおやりと。

専門は異なれど、平和志向でご親交のあられたゴルバチョフ氏に日大から名誉博士号を贈呈なさった日大講堂でのことも忘れられない。

瀬在先生、有難うございました。

想いのままに生きられた94年、大往生されたものと確信します。

安倍能成学習院院長が、「ブライズ君、オメデトウ」と追悼された60年前のお言葉を思い出しています。

改めて、学会を代表し、また個人として、心より感謝御礼申し上げます。

国際融合文化学会会長
静岡大学名誉教授

宗片邦義